

創立150年 “ウィーン国立歌劇場”

プログラム

1869年5月ウィーンのリンク通りに宮廷歌劇場が完成し、25日にモーツァルトの『ドン・ジョヴァンニ』の上演でこけら落としを行いました。これが共和制に伴い名称を改めたウィーン国立歌劇場の始まりです。今日は今年創立150年を迎えるウィーン国立歌劇場を特集します。

完成された歌劇場の評判は芳しいものではありませんでしたが、1897年に総監督となったグスタフ・マラーが数々の改革を行い、今日の基礎を築きました。その後、リヒャルト・シュトラウス、クレメンス・クラウス、フェリックス・ワインガルトナー等が総監督を務めますが、第二次世界大戦中の1945年建物は爆撃により破壊焼失、1955年に再建され、総監督のカール・ベームの指揮による『フィデリオ』によって11月5日に再開しました。1956年から総監督となったヘルベルト・フォン・カラヤンは1964年に辞任、1977年にウィーンに戻り、『フィガロの結婚』、『トロヴァトーレ』、『ラ・ボエーム』を指揮して復帰を果たします。音楽監督としては、ブルーノ・ワルター(1901~1913)、クラウディオ・アバド(1986~1991)、小澤征爾(2002~2010)、フランツ・ウェルザー＝メスト(2010~2014)。2020年からはフィリップ・ジョルダンが就任する事になっています。2005年には、再建50年のガラコンサートが行われました。今日はこれらゆかりの曲目、演目を中心にウィーン国立歌劇場の魅力に迫ります。

◆ウィーン国立歌劇場はこの曲で始まった◆

ウォルフガング・アマテウス・モーツァルト (1756~1791):

歌劇 “ドン・ジョヴァンニ”

序曲-第2幕~地獄落ちの場面とフィナーレ

シエリル・ミルズ(バリトン...ドン・ジョヴァンニ)

カール・ベーム指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

(1977.8.1 サルツブルク、フェルゼンライトシユーレでのLive)

◆50歳で急逝したウィーン国立歌劇場の常連、名指揮者ヴィオッティの遺産◆

ジャコモ・マイアベーア (1791~1864):

歌劇 “予言者”

第3幕~バレエ音楽 “スケートをする人々” / 祈りの歌~勝利の賛歌

第4幕~戴冠式行進曲/どうぞ、お恵みを/第5幕~フィナーレ

ブラシド・ドミンゴ(テノール)/アグネス・バルツァ(メゾ・ソプラノ)

ヴィクトリア・ルキアネツ(ソプラノ)/ダビデ・ダミアーニ(バリトン)

マルチエツロ・ヴィオッティ指揮ウィーン国立歌劇場管弦楽団/ウィーン国立歌劇場合唱団

(1998.5.21 ウィーン国立歌劇場でのLive)

*** 休憩 ***

◆再建したウィーン国立歌劇場最初の演目◆

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827):

歌劇 “フィデリオ”

第1幕~ “もし、私があなたと結ばれていたら” / 四重唱

第2幕~ “神よ、ここは暗い” / 序曲 “レオノーレ第3番” / フィナーレ

ジェームズ・キング(テノール...フロレスタン)/ギネス・ジョーンズ(ソプラノ...レオノーレ)

ルチア・ポツ(ソプラノ...マルツェリーネ)/フランツ・クラウス(バリトン...ロッコ)/ワルター・ベリー(バリトン...ドン・ピツァロ)

レナード・バーンスタイン指揮ウィーン国立歌劇場管弦楽団/ウィーン国立歌劇場合唱団

(1970.6.9 ウィーン国立歌劇場でのLive)

◆ウィーン国立歌劇場音楽監督辞任後1977年に復帰を果たしたカラヤン◆

ジャコモ・ブッチーニ (1858~1924):

歌劇 “ラ・ボエーム”

第1幕~ “冷たい手を” / “私の名はミミ”

ミレルラ・フレーニ(ソプラノ...ミミ)/ホセ・カレラス(テノール...ロドルフォ)

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ウィーン国立歌劇場管弦楽団

(1977.5.16 ウィーン国立歌劇場でのLive)

◆ウィーン国立歌劇場再建50周年記念ガラコンサート◆

リヒャルト・ワーグナー (1813~1883):

楽劇 “ニュルンベルクのマイスタージンガー” 前奏曲

クリスティアン・ティーレマン指揮ウィーン国立歌劇場管弦楽団

(2005.11.5 ウィーン国立歌劇場でのLive)